

## 今号の表紙

藤丸団地の桜並木です。蟹江町には数多くの桜スポットがあります。皆さんもお気に入りの桜スポットを見つけてみてはいかがでしょうか。

2014.6.1  
No.148

町議会からKanieのあなたにお届け



## ★CONTENTS★ 3月定例会特集号

### 6月定例会の日程

- 3日(火)開会
- 4日(水)3日の予備日
- 6日(金)常任委員会
- 12日(木)いっぽん質問
- 13日(金)12日の予備日
- 18日(水)最終日

※議事の都合により日程は変更になる場合があります。

※赤字の会議は傍聴することができます。

傍聴席は役場3階にあります。

【問い合わせ】議会事務局

電話(95)1111(代表)内線301・302

### 平成26年度予算を審議

### 代表質問



会派代表議員4人

### 町長施政方針に対し

河瀬広幸氏の再任に同意

### 副町長

議会基本条例を制定②  
議會議員政治倫理条例を制定②



## 特集

# 3月定例会の主な内容

信頼ある議会を目指して

# 会 基 本 条 例 を 制 定 議 会 議 員 政 治 倫 理 条 例

副町長に河瀬広幸氏を選任

**定例会の  
あらまし**



平成26年3月定例会は、3月5日から25日までの会期で開きました。

▼5日(開会)

提案説明に先立ち、町長が施政方針演説を行いました。

条例改正案、補正予算案など、あわせて26件が提案説明され、そのうち、人事案件を可決しました。

▼10日(常任委員会)

総務民生・防災建設常任委員会が開かれ、本会議から付託された議案6件の審査をしました。

▼13日(代表質問)

町長の施政方針に対し、各会派を代表する議員4人が、代表質問を行いました。

▼18日(予算審議)

平成26年度予算案(一般会計・特別会計・水道事業会計)に対し、活発な質疑が交わされました。

▼25日(閉会)

条例制定案、意見書案など4件が追加提案され、質疑討論を行った後、すべての議案を可決し閉会しました。

**議会基本条例の制定  
議会議員政治倫理条例**  
(全員賛成)

（全員賛成）

**条例制定・改正を審議**

町民に信頼される公正で民主的な町政の発展に寄与し、町民の皆様の負託にこたえる議会を目指し、この条例を制定しました。

議会基本条例は、二元代表性を担う議会の公正性、透明性、独自性を確保するとともに、その責務を自覚し、町民の負託にこたえる議会を目指し、全力で取り組むことを決意し、議会に関する最高規範として、議会、議員の活動原則などを定め、政治倫理条例では、議員が町民の代表者として人格と倫理の向上に努め、その地位による影響力を不正に利用して、自己の利益を図ることのないよう、議員の責務や、政治倫理基準などを定めています。

**災害派遣手当等の支給に関する  
条例の一部改正**

（全員賛成）

大規模災害からの復興に関する法律により、災害派遣手当を支給する職員の範囲が拡大されたことに伴い、派遣された職員に対し、派遣元の団体から手当を支給することになるため、条例を改正するものです。

## 条例改正等を審議

### 道路占用料条例の一部改正

(全員賛成)

消費税率の変更に伴う道路法等の一部改正により、道路占用料にかかる消費税額の規定を改正するものです。

### 手数料条例の一部改正

(全員賛成)

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正により、危険物の製造所等の設置の許可の申請に対する審査等にかかる手数料の額を引き上げるために改正するものです。

### 消防団設置条例の全部改正

(全員賛成)

消防組織法の規定に基づき所要の整備をするとともに、消防団員の定員を187人から192人とするために改正するものです。増員される5人は消防団本部付けの団員となります。

## 副町長の選任

河瀬広幸 氏の再任に同意

(全員賛成)



任期満了（平成26年3月31日）に伴い、河瀬広幸氏（大字西之森字才勝）の再任（2期目）に同意しました。任期は4年です。

### 人権擁護委員の推薦

牛田加代子 氏の再任を可決  
山田成氏の再任を可決

神田雅彦 氏の新任を可決

(全員賛成)

## 意見書を提出

※意見書の取り扱い  
町議会では、全会派一致で採択されたものだけが提出されることになっています。

### 国へ提出

◆介護保険要支援者への保険給付の継続を求める意見書

## 契約締結案を審議

契約名	蟹江町公共下水道事業下水道管きよ布設工事学戸新田処理分区（その3）
契約金額	7560万円
落札業者	株式会社 戸谷組
審議結果	全員賛成

## 補正予算案を審議

会計別	補正額	補正後の額	審議結果
一般会計	2億8225万3千円	94億3474万4千円	全員賛成
特別会計	国民健康保険事業	6435万9千円	全員賛成
	土地取得	1493万7千円	全員賛成
	介護保険管理	▲3704万8千円	全員賛成
	コミュニティ・プラント事業	額の増減は無く、項目内容を変更	全員賛成
	公共下水道事業	▲4040万8千円	全員賛成
	後期高齢者医療保険事業	▲1027万1千円	全員賛成

# 会派代表4人が 代表質問

「代表質問」とは、会派の代表議員が町長の施政方針（今年度の主要施策）に対して行う質問をいいます。

3月定例会には会派を代表して4人が代表質問を行いました。

## 施政方針の主な内容

私が担当させていただく3期目の町政がスタートしてから1年が過ぎました。先の所信表明においてお示ししましたこの先のビジョンの実現に向けて、確かな1歩を踏み出した1年でありました。

4年間という区切りのある期間を積み重ねながら町政の舵取り役を担わせていただく中で、日々の地道な取組みに全力を注ぐ意を強くしたところであり、今後も町政運営にしっかりと臨んで参ります。

### 第1章「心身ともに健やかに支えあって暮らせるまちづくり」

- 平成25年度に取得した蟹江保育所の南側に隣接する土地の一部を、保育所の園庭や駐車場として整備し、保育環境の充実を図って参ります。
- 施設や設備の著しい老朽化に伴い利用を一時休止しております老人福祉センター分館と、利用者が大幅に増加した老人福祉センター本館について、よりよい高齢者サービスの提供に向けて今後の施設の在り方を検討して参ります。

### 第2章「次代につなぐ教育と生涯学習のまちづくり」

- 平成25年度から各施設における非構造部材の耐震化に着手しておりますが、平成26年度は、新蟹江小学校、学戸小学校、蟹江北中学校の校舎等の窓ガラスに飛散防止フィルムを施工して参ります。
- 長年実施しております親子キャンプ教室の活動拠点を愛知県の設楽町に変更いたします。

### 第3章「豊かな環境と安全がもたらす持続可能なまちづくり」

- 地域における消防・防災活動の担い手となる消防団員の確保が難しくなっております。そこで、従来の男性中心の活動に加えて、女性団員の確保に努めることで活動の幅を広げます。
- 災害時における一時避難施設として蟹江川排水機場を使用する協定を愛知県、名古屋市、蟹江町の3者により締結する予定です。

### 第4章「誰もが元気に楽しく住みつづけたくなるまちづくり」

- J R 蟹江駅の南北を結ぶ自由通路の設置について、平成26年度は概略設計を終え、その内容を基に事業の実施を検討して参ります。また、近鉄蟹江駅周辺整備事業への取り組みとして、駅周辺の土地調査や基本計画策定を要する調査等を実施し、その結果を踏まえて近鉄等の関係機関との協議を進めて参ります。
- 現在休止しております「足湯かにえの郷」について、隣接する民間施設の工事と併せて足湯周辺の整備を施工し、秋頃の再開を契機としてより一層の来訪者で賑わうよう運営して参ります。

### 第5章「町民・行政の協働と効率的な行政運営によるまちづくり」

- 協働の推進事業について、新たな活動分野や団体の発掘に努めていますとともに、既存の団体については、活動内容がステップアップされるよう支援して参ります。
- 姉妹都市であります米国マリオン市への中学生派遣交流事業を、平成26年度の派遣からは派遣人数を増やし、より多くの中学生に貴重な体験をしていただけるよう実施して参ります。また夏季には、初めてとなる「マリオン市からの派遣」の受入れを予定しております。

最後に、平成25年度に愛知県から取得した、愛知県立蟹江高等学校の跡地につきましては、無事に解体工事を終えました。広大な敷地の活用方法については、東側に当たるグラウンド部分を学校法人愛知大学に貸し付け、ご利用いただきました。また、敷地の西側につきましては、町民の皆様に有効にご利用いただくため、平成26年度において必要な整備を進めていきます。完成した暁には、その詳細について広報させていただきますので、町の新しいスポットとして供用開始できるようしっかりと整備して参ります。

町として取り組んでいく施策・事業は目白押しであります。時々刻々と社会情勢が変化していきます。これらの動きを適時的確に捉えながら必要な施策に取り組み、安定した行政運営を図ってまいります。

施政方針に対し

会派代表が問う

代表質問



横江町長

南海トラフ地震等、  
今後の災害の中での周  
囲に及ぼす影響を考え

# 近鉄蟹江駅周辺 早急に改善せよ！

●21フォーラム代表

くろかわかつよし  
黒川勝好

蟹江町には温泉を有  
している企業がある。  
それを利活用するとい  
うことは当然考えてい  
かなければいけないと  
である。

前向きに考えれば、

空き家等の対策はし  
っかりと進めていき  
たい。

一般企業とタッグを  
組んで対応するのが  
本当ではないか。

横江町長

周辺地域全体を福祉ゾ  
ーンと定め、官民一体  
となって計画を進めて  
いかないか。

温泉福祉ゾーンにす  
るかどうかは別として、  
温泉を活用したゾーン  
にしたいなと思つては  
いる。

一般企業としつかりタ  
ッグを組んで、今後来  
るであろう、蟹江町の  
高齢化社会に対応する  
のが本当ではないかと  
思う。

た時、地権者と協力し  
ながら、廃屋、空き家  
を利用することに  
ついで、条例は今後考  
えていかなければなら  
ないかもしれません。し  
つかり勉強させていた  
だくが、緊急を要する  
ことに関して早急に進  
め、町内会長、地域の  
皆様方、消防署と連携  
を取りながら、廃屋、  
取り壊しができていな  
い空き家等の対策はし  
っかりと進めていきた  
い。

もし条例を制定する  
ようなことになれば、  
議員各位に相談申し上  
げ、提案させていただ  
きたい。

駅北側に近鉄所有の  
土地が空き地になつた  
ままとなつており、近  
鉄サイドからこの空き  
地についての話し合い  
があつたのも事実であ  
る。

問 やつと動き出した  
近鉄蟹江駅前周辺整備。  
近鉄グループとの話し  
合いが最優先だと思う  
が、以前から課題とな  
っている駅前ロータリ  
ー、橋上駅、南口改札  
等、早急に解決の糸口  
を見つけることを期待  
する。

駅前自転車駐車場を  
整備し、非常に環境が  
よくなつたことも踏ま  
えて、今後は駅前ロタ  
リーやの整備並びに近  
鉄所有の土地の再利用、  
利活用、近鉄駅南の地  
域の活用も含めて、こ  
れから基本設計の調査  
を具体的に進めていき  
たい。

近鉄本社との話し合  
いを進めるスケジュ  
ルも徐々に決まってき  
ているようであり、全  
身全霊このことに傾  
をする覚悟である。

全身全霊このことにつ  
いての傾注をする覚悟で  
ある。



▲ 朝夕には混雑する近鉄蟹江駅前ロータリー

横江町長

駅北側に近鉄所有の  
土地が空き地になつた  
ままとなつており、近  
鉄サイドからこの空き  
地についての話し合い  
があつたのも事実であ  
る。

会派代表が問う

代表質問

# 子育てのしやすいまちづくりを目指せ！

**横江町長**  
蟹江町がこれからやつていかなければなら  
0歳、1歳、2歳を集中的に受け入れる施設が急務ではないか。

**問 近鉄蟹江駅の口一**  
タリーや混雑解消のために整備事業を行うの

**横江町長**  
橋上駅を作れば南改札口を作る必要はないが、南側の駅前広場を

**まずは北側口一タリーやの整備、近鉄敷地内の活用を提案したい。**  
最初から南改札口の話は非常に重いので、まずは駅前北側、近鉄北側口一タリーやの整備並びに近鉄敷地内の活用を提案し、町としても当然財政が伴うことであるので、また皆様

**周知、啓発啓蒙をしっかりとやっていきたい。**  
に安全な空間、命を守るために震災の耐震シエルターをつくっていただくための補助制度である。この2つの制度を活用いただくために、周知啓発啓蒙をしっかりとやっていきたい。

の建て替えはどうか。舟入保育所つとして、舟入保育所の建物は平屋建築で古く、耐震も心配だ。保育所の機能と子育て支援センター等を併設し、災害時の緊急避難場所としての機能を持つ、2～3階建ての複合施設を建設してはどうか。また、子育て支援についてどのように考えているか。

舟入保育所は唯一の平屋建てであり、雨漏りや老朽化が激しい。0歳、1歳、2歳を含めた保育行政を大きく変える舵取りのターニングポイントになるのが舟入保育所ではなくか。

舟入保育所は農業振興地域にあり、町の施策として農業振興地域を外すのは非常に難しいが、施策として全面的に打ち出す、そういう方策を平成26年度に進めていきたい。

であれば、蟹江駅を橋上駅にして南側にも改札口をつくり、駅前口一タリーやをつくれば混雑が解消する。早急に事業化をお願いしたい。

者である、近鉄、近鉄不動産、近鉄タクシーと、今ある敷地の中提示し、2段階目に橋上駅に向けたお話をさせていただく。

**横江町長**

地震に対する備えの新たに創設される2つの補助金制度は住宅の倒壊から命を守る事業のようだがどちらなものか。



▲唯一の平屋建ての舟入保育所

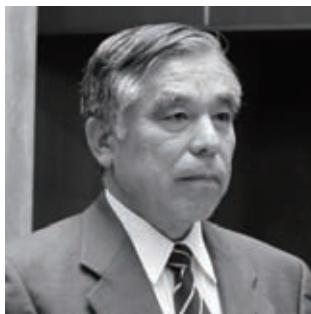
**周知、啓発啓蒙をしっかりとやっていきたい。**

**問 地震に対する備えの新たに創設される2つの補助金制度は住宅の倒壊から命を守る事業のようだがどちらのものか。**

にお話させていただきたい。

会派代表が問う

代表質問



# 安心して暮らせる 地域包括ケアを前へ進めよ

**問** 5歳児健診による発達障がいの早期発見と発達事後相談支援体制の強化が皆様から求められている。5歳児健診の継続と就学時ににおけるフオローエンス体制を図れ。

町の単独事業としてスタートさせていた  
だきたい。

**横江町長**

今後継続できるならば、この事業を町の単独事業としてスタートさせたい。ただ、今現在グレーディングが非常に多くでてきており、早い時期に認識していたとき、母子ともに健全な方向に

**問** 子ども子育て支援計画を実施するに当たり、アンケート調査が実施された。現場の声を計画に反映させるためにも、効果的に活用できる子育て支援事業計画策定に取り組め。

平成27年のスタートに向けてしっかりとやさしくやりたい。

**横江町長**

子ども子育て支援事業計画策定委員会を立ち上げ、アンケート調査をさせていただいた。アンケート調査の中にはさまざまな問題が出てきている。まだまとめは済んでいないが、

改善していく方策を行いたい。当然施策としてフオローエンス体制が、保護者の方にしつかり認識していただくことが一番肝心な問題だと理解している。

**問** 平成27年のスタートに向けてしまつかりやつていいきたい。

**問** 本町でも、今後医療や介護等を必要とする高齢者の増加が予測される。高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らせる「地域包括ケアシステム」の構築に取り組め。

いろいろな意見を束ね、ケアシステムを構築していきたい。



▲ 包括支援センターがあるカリヨンの郷（上）とセーヌ蟹江（下）

**横江町長** 65歳以上の高齢者の方が8000人を超える状況になってきた。これから下がることはないと考えているので、地域でどのようにまとめていくのか、在宅ケ

**横江町長** 平成23年度から本格的な話し合いをし、前進する政策をやっていくのでもう少し時間がいただきたい。横断歩道や地下道の整備の要望もいただいており、そちらは先行して整備をし、あの地域の駐車スペース、駐輪スペースも相まってしっかりと整備をしていきたい。

**問** 近鉄蟹江駅北側口、一タリードの改善に向け、総合的整備をどのように計画していくのか。

もう少し時間がいた  
だきたい。

今すぐ結論が出るわけではないが、2つの包括支援センター、他の福祉団体のいろいろな意見を束ね、ケアシステムを構築していくたい。

## 会派代表が問う

代表質問

# 災害に強い安心・安全な 住みよい町を問う

皆様と相談しながら  
考えてやつていきた  
い。

**横江町長** 人口密集地域であるが、なかなか開発ができるのは事実である。町もできる限りの要望はさせていただくが、地域の地権者の皆様方を歩前へ進める施策を考えていきた。

問 須西小学校は避難所となっており、天王橋、御葭橋、飾橋は川東からの避難通路として重要な橋だ。大地震に耐えられるか調査はされたか。

天王橋は愛知県の管理となつておりますが、確認したところ、落橋防止の点検は進んでおり、耐震補強までは必要なないと回答をいただいておりますのでご安心いただきたいたい。

**横江町長** 議員、町内会長の協力をもつて、町道部分はご理解いただいた。県道までの接続点についても同意いただいたと聞いている。

実質これで整ったわけであるので、できる限り早い時期に住民説明を行いたいと思う。

6月補正で基本設計に入り、9月補正を目指している、そういう計画で1日も早い完成に向けてスタートしたいと考えている。

問 平成26年度、蟹江高校跡地の計画は示され、本町地区S会社の跡地は蟹江保育所園庭の拡張、駐車場の整備は決定した。保育所南

平成14年からずつと意見をいただいていた議員各位には厚く感謝を申し上げたい。保育所の園庭拡張、安心して送り迎えができる駐車場の整備を第1期工事としてさせていただきその後のことについてはまた皆様と相談しながら考えてやつていきたい。



### ▲ 避難通路として重要な御草橋

1日も早い完成に向けてスタートしたいと考えている。

今須成線の歩道設置の拡幅には地権者の立会いで測量も済み、点滅信号から北へ12件の地権者からも承諾書をいただいた。早期実現に向けて今後の事業計画を伺う。

# 総務民生・防災建設 常任委員会の審査

3月定例会では、総務民生、防災建設の各常任委員会が開催され、6件の審査を行いました。質疑から一部をお届けします。



た場合、災害派遣手当  
が支給される。



消防長及び消防署長の  
資格を定める条例の制定  
（全員賛成）



### ▲女性消防団員が在籍するラッパ隊 (平成15年度消防団観閲式)

**消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定**  
**(全員賛成)**

## 消防団設置条例の全部 改正（全員賛成）

の計3人だが、新年度はそこに5人の団員を入れ、消防団本部として8人で運営をしていく。

**災害派遣手当等の支給に関する条例の一部改正**  
**(全員賛成)**

## 道路占用料条例の一部 改正（全員賛成）

伊藤消防本部総務課長  
今まで消防長及び  
消防署長の資格は文書  
か。

**伊藤消防本部総務課長**  
全国平均は39・7歳。蟹江町は27・4歳である。

問 この5人というの  
は、女性枠なのか。

**岡村安心安全課長** 今までは、派遣されても手当の支給はなかつた今回の改正により、災害派遣職員の手当を派遣先が支払うことにな

問 災害派遣及び武力  
攻撃はあるが、災害と  
武力との違いは。

伊藤士木農政課長道  
路占用料は、土地の貸  
し出しに係る対価に該  
当するので、占用期間  
がひと月を超える場合  
は非課税となり、ひと  
月末満は消費税がかか  
る。

で定めるとなつていいた。今回、消防組織法が改正され、消防長及び消防署長の資格が国の基準を参照し条例で定めるというように改正された。

で定めるとなつていて、今回、消防組織法が改正され、消防長及び消防署長の資格が国的基本標準を参照し条例で定めると、いうように改正された。

問 5人増員という条例改正になつてゐるが、消防団本部にプラス5人ということか。

採用していく予定である。

**岡村安心安全課長** 災害は台風、洪水、地震などの有事を想定している。また、武力攻撃は国民保護法の関係の有事であり、そういう際に職員が派遣され

問 実際問題として、道路占用料に消費税がかかったケースはあるのか。

## 伊藤消防本部総務課長

**問** 5人増員という条例改正になつて、消防団本部にプラス5人ということか。

**伊藤消防本部総務課長** 女性用を準備した方が良いのではないか。

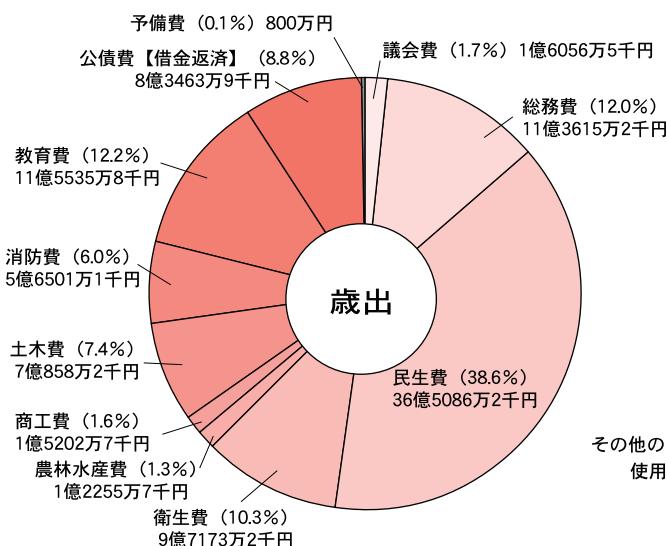
平成26年度

# 予算審議

平成26年度予算（一般会計、特別会計6件、水道事業会計）案を審議し、指摘事項や今後の行政運営への要望など活発に発言し、すべて原案どおり可決しました。

私たちが指摘・要望した事項の一部をお届けします。

## 一般会計予算のなかみ

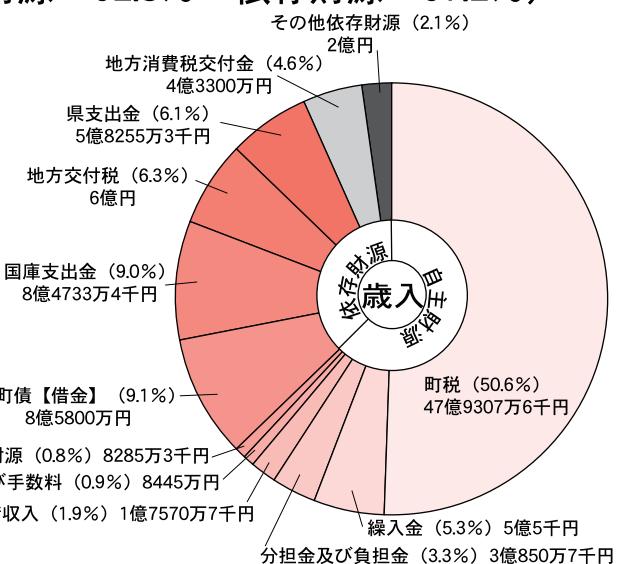


※各項目で四捨五入しているため  
合計が合わない場合があります。

自主財源とは？ 町税や分担金など自主的に  
収入できる財源です。  
依存財源とは？ 町債や国庫支出金のように  
国や県に依存して調達する  
財源です。

## 予算額94億6548万5千円

(自主財源：62.8% 依存財源：37.2%)



## ●平成26年度予算の主な内容

○蟹江高校跡地整備事業  
予算額 2億1741万9千円  
蟹江高校跡地西側を「(仮称)蟹江町希望の丘  
広場」として、「(仮称)希望の丘」の設置や  
南校舎の改修工事を行い、防災避難場所として  
使用できるようにするとともに、多世代間の交  
流が図れる場として広く利用できるよう整備  
を行います。

○街路整備事業  
予算額 3510万円  
J R 蟹江駅の自由通路・南側の駅前広場を整備  
し、最終的に、橋上駅化を目指します。また、駅周  
辺を総合的に勘案した整備を目指します。  
現在休止している足湯施設を9月末に再開する  
ため、整備工事を行います。

○足湯関連整備事業  
予算額 534万2千円  
平成25年度に購入した佐藤化学工業跡地を利用  
し、保育所の園庭の拡張・駐車場の整備を行いま  
す。

○蟹江保育所園庭等整備事業  
予算額 148万5千円  
蟹江排水機場の屋上を一時避難場所として使  
用できるように、名古屋市が転落防止の手すり  
を設置する工事費の一部を負担します。

予算総額		
会計別	予算額	審議結果
特別会計	一般会計	94億6548万5千円 全員賛成
	国民健康保険事業	36億4892万円 全員賛成
	土地取得	1億8002万7千円 全員賛成
	介護保険管理	19億5957万円 全員賛成
	コミュニティ・プラント事業	939万8千円 全員賛成
	公共下水道事業	13億5420万円 全員賛成
水道事業	後期高齢者医療保険事業	7億3567万5千円 全員賛成
	合計	173億5327万5千円
水道事業		9億9233万9千円 全員賛成

全体的な流れとして、税収入はもう少し伸びるのではないか。また、今回の起債はどの事業に充てていくのか。

**服部総務部次長** 町民税、軽自動車税、滞納繰越分の収入は今がピークの状態であるので現状維持がやつとではないか。平成27年度には法人税の税率が下がる影響で法人税収入は落ちると思うが、JR蟹江駅北が本換地されるので固定資産税の増収が見込めると思う。

**江上総務部次長** 消防デジタル無線と蟹江高校跡地の整備事業についてはそれぞれの事業に充てる。臨時財政対策債は特に決めはなく不足する部分に充てる

江上総務部次長 地場産業を活用してやつてみえる市町村があるのも承知しているが、今のところ考えはない。

問 地域防災計画に童卷対策等、局地的被害にも対応できるよう盛り込んでいく考えはないのか。

岡村安心安全課長 6月以降に発表される被害想定に基づき、全面改定で盛り込んでいく

問 東日本大震災被災地に町村会等でローテーションを組み派遣ができるような状況にはならないのか。

横江町長 他の町村の状況等を調査したが、相手方のニーズにお応えするだけの職員を派遣する状況になつてない。できれば現地に行き、どういう状況でどういう職員がどれだけ必要なのか実態を勉強していきたいと考えている。

**問 空き家の定義とは何か。空き家対策を進めるためにどういう研究をするのか。**

**岡村安心安全課長** 空き家とは管理が不全な状態にある建物、工作物等と理解している。空き家条例を制定している団体は全国的にはかなりあるので、当然前向きに考えていかなければならぬ。

**佐藤民生部長** 子育てに関する手当では子育て推進課の所管となる一時的に窓口等が混雑することも考えられるので、詳細なところを検討したい。臨時福祉給付金は住民課が所管するが、税務課や他の民生部の課にまたがつたりしている。職員が集まつて打ち合わせ等を行つてているが、実際の事務は1課ではできなことを承知しているので、万全の体制をとつてやつていきたい。

と話し合いをしていかなければならぬ重要な課題だと思っている。

道路管理担当課と植栽担当課が相互に調整をとりながら臨んでいきたい。

問 蟹江高校跡地について、南校舎は避難所として活用、そして4mの高台を作る計画が示されている。もし最悪の状況が起きた場合本当に安全な避難所と言えるのか。

**伊藤政策推進室長** 地震が起きてすぐに日光川堤防が破堤する状況になつた場合は、利用者の一時的な避難場所として使われると思う。南校舎は耐震補強工事を行うので、地震で壊れるような建物にはならない。最終的には防災計画が出来上がつてくるので、その折にどういう避難場所となるのか皆様にお示しする

議長  
吉田正昭

5月12日、臨時会が開かれ、議長、副議長、委員長、委員などが新しく決まりました。任期は、申し合わせにより1年間です。

副議長  
松本正美

## 総務民生常任委員会

総務部、民生部、教育委員会の所管に関する事項、他の常任委員会に属さない事項で、付託された案件などを審査・調査します。

委員長  
黒川勝好副委員長  
佐藤茂

水野智見 戸谷裕治 山田新太郎



菊地久



高阪康彦

## 防災建設常任委員会

産業建設部、上下水道部、消防本部の所管に関する事項で、付託された案件などを審査・調査します。

委員長  
大原龍彦副委員長  
安藤洋一

奥田信宏



吉田正昭

## 一部事務組合議会議員

海部地区急病診療所組合議会議員  
黒川勝好  
海部南部広域事務組合議会議員  
山田新太郎 佐藤茂  
海部地区環境事務組合議会議員  
菊地久  
海部地区水防事務組合議会議員  
奥田信宏

愛知県後期高齢者医療広域連合議会議員  
黒川勝好

## 監査委員

(議会選出)

伊藤俊一

## 議会運営委員会

会期の決定、議事日程など議会の運営に関する事を協議します。

委員長  
奥田信宏

副委員長  
菊地久

戸谷裕治

伊藤俊一

高阪康彦

## 議会広報編集委員会

議会だよりの発行、ホームページの掲載に関する事を協議します。

委員長  
山田新太郎

副委員長  
水野智見

安藤洋一 佐藤茂

黒川勝好

## 福島県川内村を視察

### 東日本大震災原発事故から3年を経た福島県川内村の現状を学ぶ

清新

平成26年2月13日に、東日本大震災から3年を経る福島県川内村を訪ねました。ここは爆発事故を起こした福島第1原発が立地する大熊町の南西に隣接した村であります。

一見何事もなかったような山間の静かな村ですが、事故から3年たち警戒区域が解除された今も村民の半数近くが戻らない、特に小さな子供を持つ若い世代が戻ってこないという、将来的に非常に不安な状況になっていました。もともと人口流出が問題となっていた自治体にとって、大打撃となる人為的災害であったようです。

役場や社会福祉協議会で避難や復興の状況、今後の計画の説明を受けましたが、まだまだ安心・安全な復興は遠い道のりであると感じました。  
(安藤洋一)



## 沖縄県那覇市・宜野湾市・読谷村を視察

### 沖縄県内のアメリカ軍基地の実情を学ぶ

21フォーラム・無会派

平成26年2月10日、アメリカ軍基地の実情を調べるために沖縄県を訪ねました。アメリカ軍基地の面積は沖縄本島面積の18.3%を占め、アメリカ軍専用施設・区域は全国の73.8%が沖縄県に集中しています。今問題となっている普天間基地の周辺には小学校10校、中学校5校、高校4校、大学が1校あり、基地周辺の学校の多さに驚きました。「私たちは、アメリカ軍基地をすべて無くしてくれと要求しているわけではありません。本土の方々も応分に基地による苦しみを分担していただき沖縄県民の負担を少しでも軽くしていただきたい」との沖縄県職員の言葉が大きく心に響きました。

また、観光交流大使派遣事業で中学生を派遣した読谷村も視察しました。  
(山田新太郎)

